

新年のご挨拶

新春を迎え、読者の皆様におかれましては益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。また平素のご厚情に深謝いたします。

1955年8月、主に細菌検査に関わる学術情報の提供を目的として『モダンメディア』が創刊されました。現在、月間発行部数は5,500部を数え、2004年からはWeb版を公開、記事を扱うコンテンツは30種類に及び、人の健康に関わる様々な視点から臨床検査に関わる話題や最新情報を提供させていただけるまでに内容が拡充されております。おかげさまで、今年7月号では通巻800号を発行させていただくこととなりました。これもひとえに皆様のご支援によるものと、厚く御礼申し上げます。

今後も読者の皆様お一人お一人にご満足いただける『モダンメディア』の誌面づくりに努めて参りたいと存じます。引き続きご愛読たまわりますようお願い申し上げます。

時に、COVID-19の流行は、世界的に未だ収束が見通せない状況が続いており、人々の社会生活や日常行動に大きな変化をもたらし、医療の現場においても、臨床・研究・教育のすべての場面で大きな影響を受けてきました。

しかし、世界中の人々の努力と英知の結集によって、ワクチンや治療薬開発などの感染対策や経済対策が講じられ、ウイズコロナ/ポストコロナ時代の社会・経済・医療・生活のあり方についても検討と試みが重ねられています。

1945年にわが国に大流行を起こした赤痢、2003年のSARS(重症急性呼吸器症候群)、2009年の新型インフルエンザ、そして2020年からの新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的大流行、さらに、時代を超えて長く影を落とし続ける結核の課題など、弊社はこれまで、“Saving Your Health”「ヘルスケアを通じて世界の人々の健康を守ります」の経営理念のもと、これら様々な感染症に対応する検査試薬や装置のご提供を通じて、医療従事者の皆様とともにその終息に向けて全力で取り組んで参りました。

これからも“Beyond COVID-19”として、COVID-19をはじめ将来的に社会に影響するであろう多様な感染症に対応できるように、技術開発や製品改良に取り組み、検査薬のさらなる品質向上と安定供給に注力して参ります。

さて、本誌恒例の新春放談2022年では、「新型コロナウイルスを取り巻く新たな変化と今後」と題し、新型コロナウイルス感染症への対応に関して、検査・診断・治療・感染対策・ワクチンなど様々な領域からご専門の先生にお集まりいただき、現状分析や今後の展望について伺っております。

語り手として、石井良和先生(東邦大学医学部 微生物・感染症学講座 教授)、忽那賢志先生(大阪大学 大学院医学系研究科 感染制御医学講座(感染制御学)教授)、菅原えりさ先生(東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 感染制御学 教授)、森下竜一先生(大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学 教授)、聞き手は、本誌編集委員でもあります松本哲哉先生(国際医療福祉大学医学部 感染症学講座 主任教授)にご担当いただきました。

新型コロナウイルス感染症対策は様々な領域で明確な進歩や発展が見られており、それらを踏まえた今後の取り組みや可能性について幅広くご議論いただいておりますので、是非ご一読ください。

本年も、より一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。そして、皆様方にとって素晴らしい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

2022年 元旦



栄研化学株式会社

代表執行役社長

納 富 継 宣